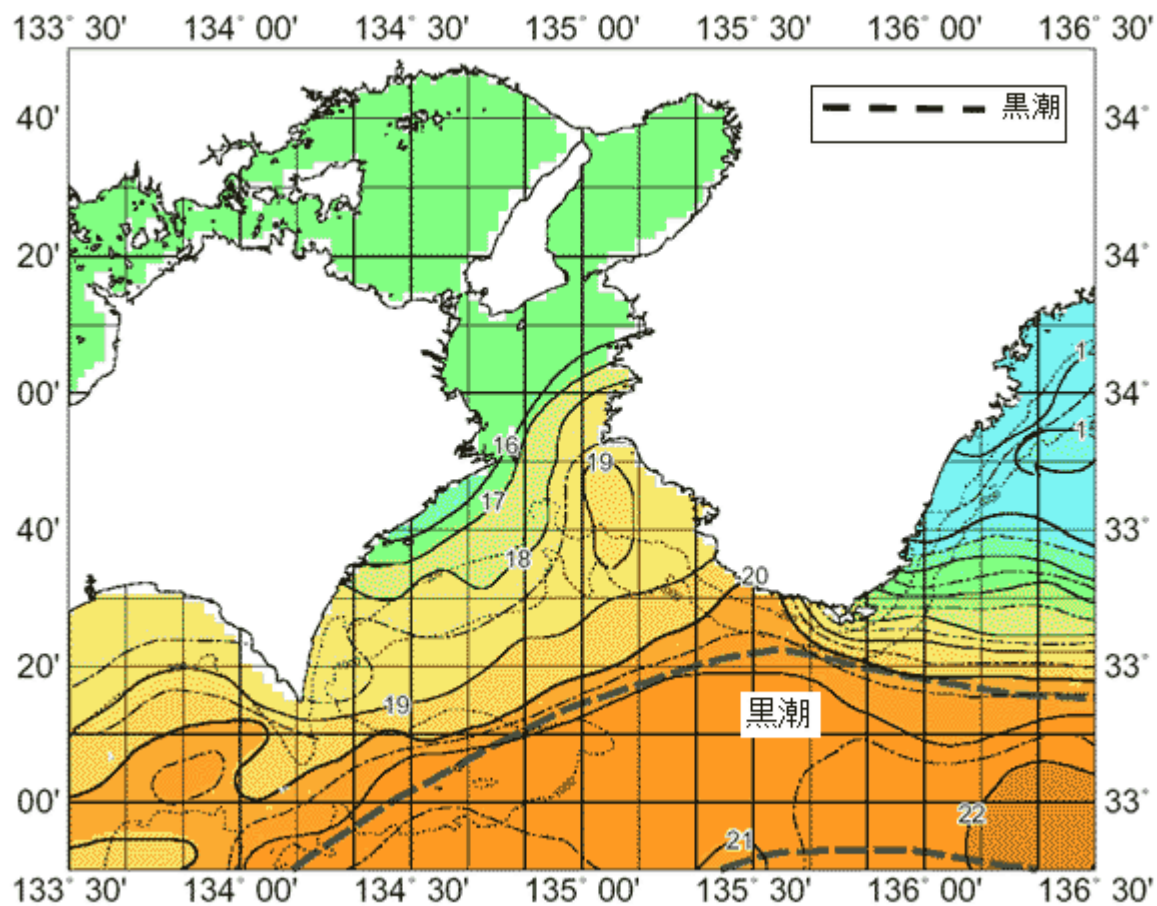


1. 海況の経過



海況

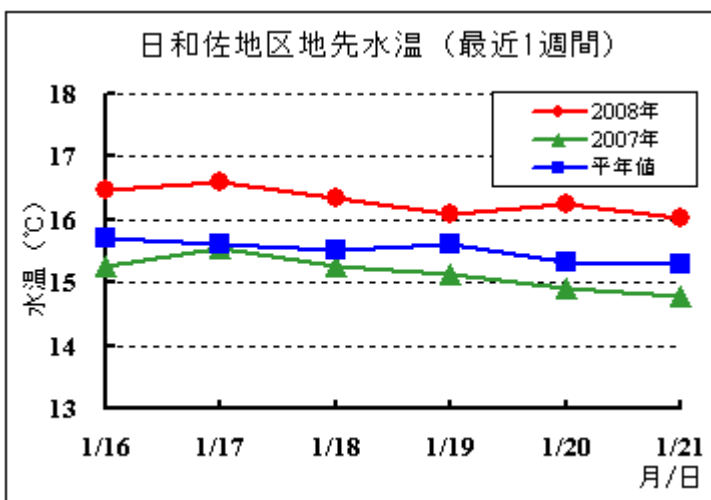
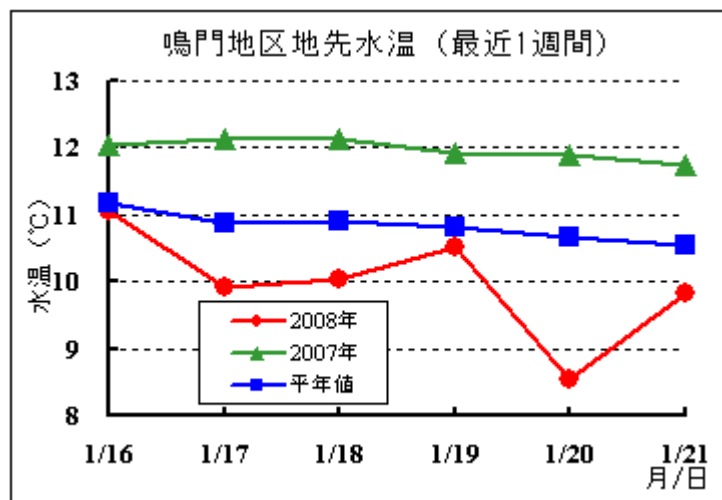
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.01.21)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は19～22℃台である。

表面水温は播磨灘が不明、紀伊水道内部が15～18℃台、外域が15～20℃台となっている。徳島県側では16℃台の紀伊水道内海系水が海部沿岸へ南下している。また、潮岬沖の黒潮が接岸しているため、和先週に引き続き、和歌山県側から17～19℃台の黒潮系暖水が紀伊水道内部へ流入している。また、和歌山県側では、水道入り口付近から外域にかけて、18℃台の暖水塊がみられる。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「低め」の8.6～11.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の16.0～16.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の14.5～16.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが0.2トン(1日1隻あたり13kg)、大主体にトラフグが42.0kg(同4kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが1.3トン(同12kg)、キビナゴが0.5トン(同21kg)、小主体にマアジが0.3トン(同14kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にスルメイカが0.9トン(同134kg)、小小主体にマアジが0.5トン(同66kg)、小小主体にシイラが0.4トン(同62kg)、マサバが0.4トン(同57kg)、小主体にアカカマスが0.2トン(同36kg)、大主体にアオリイカが0.2トン(同24kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン(同9kg)、中主体にタッチウオが0.2トン(同20kg)、紀伊水道で、サワラが0.1トン(同13kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)01月15日～01月20日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	16	201	13	大主体
		トラフグ	10	42	4	大主体
小型定置網		アオリイカ	110	1,272	12	
		キビナゴ	22	469	21	
		マアジ	19	271	14	小主体
大型定置網		スルメイカ	7	939	134	大主体
		マアジ	7	463	66	小小主体
		シイラ	7	432	62	小小主体
		マサバ	7	402	57	
		アカカマス	7	249	36	小主体
		アオリイカ	7	169	24	大主体
		釣り	アオリイカ	80	717	9
タチウオ			12	238	20	中主体
紀伊水道			サワラ	8	108	13

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9～10℃、日和佐地先で「平年並み」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが1.2トン(1日1隻あたり10kg)、ビンナガが2.7トン(同22kg)、釣りで、メジロが0.2トン(同2kg)、スルメイカが0.9トン(同11kg)、パッチ網でシラスが7.1トン(同148g)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリ(ブリ級)が1本、マアジが1.4トン、ウルメイワシが4.5トン、スルメイカが16.6トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上